

# Campus Today



松本歯科大学  
発行所 学校法人 松本歯科大学  
長野県塩尻市広丘郷原1780  
☎ (0263) 52-3100  
www.mdu.ac.jp  
1部60円

## 25年間にわたる「松本ボーンフォーラム」 「信州骨代謝多職種セミナー」最後の開催

### 元学長・小澤英浩先生らが代表世話人となり結成 来年から新しい研究会の設立・運営をめざす

第7回信州骨代謝多職種セミナーが6月19日（金）、松本市の信州大学医学部附属病院会議室で開催された。本セミナーは、2002年より17年間にわたり毎年開催されてきた「松本ボーンフォーラム」がルーツだが、現在の名称での開催は今回を最後とし、来年以降は新たな体制での開催を検討していく。



左から、小林教授、白木所長、田中部長、高橋教授、西田教授、水野教授、田口教授、宇田川学長

「松本ボーンフォーラム」は、本学に赴任された小澤英浩先生（元学長）が、骨粗鬆症治療薬の臨床研究の世界的権威である成人病診療研究所（安曇野市）の白木正孝先生と、骨誘導因子（BMP）研究の牽引者である信大医学部整形外科学講座教授の高岡邦夫先生が代表世話人となつてこの地域の骨の研究の活性化を目的に結成、2002年に1回目が開催された。2003年には高岡先生の後任の加藤博之教授に代表世話人が引き継がれ、その後しばらくは本学で毎年開催された。当初から帝

人ファーマ（現帝人ヘルスケア）の全面的なサポートで活発に活動してきたが、2018年の第17回をもって終了。翌年、加藤先生の退任後に信大医学部運動機能学教室（整形外科）教授に就任された高橋 淳先生と、宇田川信之教授（本学学長）および白木先生が代表世話人を務める「信州骨代謝多職種セミナー」に活動は引き継がれ、今回7回目を迎えた。本学からは田口 明教授（歯科放射線学講座）と小林泰浩教授（総合歯科医学研究所）が世話人として運営に従事してきたが、帝人ヘルスケアのサポート終了に伴い、最終回となった。

子であるスクレロスチンをコードする遺伝子）のホモ接合体変異の発見は画期的なものである。招待講演2では、田中伸哉先生（東京都春日部病院整形外科部長・人工関節センター長）が「人生100年時代の骨粗鬆症治療―骨形態計測からみえること―」の演題で、各種骨粗鬆症治療薬の作用機序について、骨形態計測的な観点から講演された。そして、藍葉宗一郎先生（長野市民病院整形外科副部長）に

### 歯科医学の発展に身を捧げられた御霊に感謝

#### 第50回解剖諸霊位慰霊祭

第50回解剖諸霊位慰霊祭が6月6日（土）、本館7階講堂で行われた。ご遺族、本学法人役員、職員、解剖学関連の授業を受けた第2、第3学年の学生など約200人が参列し、歯科教育や歯科医学発展のためご献体くださった15柱の御霊にあらためて感謝を表し、哀悼の誠を捧



故人とご遺族に感謝して合掌する学生たち

祭典ではまず宇田川信之学長が「生命科学研究のためご遺体を提供された15柱に謹んで祭祀を捧げます。医学医療の発展は人体の様々な臓器の形態やその機能を明らかにするところから始まります。ご尊霊に深く感謝申し上げますとともに、ご遺族の

皆様にも尊敬の意を禁じ得ません。あらためて心からの感謝と御礼を捧げます」と祭文を読み上げた。続いてご遺族、学生、職員の順に焼香し、読経の中、それぞれが祭壇に向かい手を合ませた。

### 歯科放射線学講座 杉野紀幸准教授 日本歯科放射線学会 優秀論文賞を受賞

約300人の会員が参加した。本学会最高位である優秀論文賞には、今回、本学歯科放射線学講座の杉野紀幸准教授の論文が選ばれ、最終日には表彰式が行われた。



村上理事長（左）と受賞した杉野准教授

第66回日本歯科放射線学会学術大会・第22回定例総会が5月29日（金）から31日（日）まで、都内の学術総合センターにおいて、三浦雅彦大会長（東京科学大学大学院医歯学総合研究科）のもと開催された。本大会は「温故知新」をテーマに、歯科放射線学の歴史を振り返るとともに、今後の発展を展望する多彩なプログラムが企画され、全国から

学術論文の中から最も優れた研究に授与されるもので、2002年に創設された本学会最高位の学術賞である。本年度は、杉野准教授による論文が受賞した。受賞論文は、松本歯科大学病院において3年間実施された「パノラマX線画像を用いた骨粗鬆症スクリーニングにおける整形外科受診率」に関する研究であり、2025年に骨粗鬆症専門誌「Osteoporosis and Sarcopenia」に掲載された。

教育講演に加え、シンポジウム「口腔顎顔面領域における画像診断の温故知新」が開催された。また、ポスター発表では、本学から歯科放射線学講座の杉野紀幸准教授および、歯科矯正学講座診療助手の鈴木聡平大学院生が研究成果を発表した。

今回の受賞は、本学における骨粗鬆症研究および医科歯科連携研究の成果が高く評価されたものであり、杉野准教授の今後のさらなる活躍が期待される。

（歯科放射線学講座 教授 田口 明

# 炎上対応で「まず謝罪」は最悪の選択だ

内閣官房参与  
松本歯科大学理事(特命)  
救命教授  
**飯島 勲**

今月号では『ブレジデント』7月3日号「リーダーの掟 飯島勲」より、炎上対応で「まず謝罪」は最悪の選択だ」の記事を要約して紹介します。

多くの経営者や広報担当者が恐れるのが「炎上」という現象だ。若し人なら「炎上」の2文字だけで何を示すのか分かるだろうが、私と同世代の読者はピンとこないかもしれないから、一応意味を説明しておこう。炎上とは、特にSNSやインターネットにおいて、何か特定の人物や企業に対して批判や非難が殺到する現象のことを指す。一度非難が殺到すると、ある意味で「話題のトピック」となってしまう、悪評が勢よく拡散する

ことから、火が燃え広がる様子にたとえて「炎上」と呼ばれるようになったものと思われる。最近の例で言えば、読売ジャイアンツの阿部慎之助監督(当時)が、家庭内のトラブルをきっかけにした暴行事件で監督を辞した。だが、あの一件には不可解な点が多い。第一に、何が起ったのがよく分からないのだ。

報道では自宅で姉妹が喧嘩をはじめ、それを止めようとした際に長女に暴行を加えた、などとされているが、肝心のジャイアンツ側からは事実関係の発表がない。読売ジャイアンツの公式サイトを見ても、初勝利を挙げた橋上秀樹監督代行の記念グッズ発売のお知らせはあるのに、阿部監督が辞任したことに

結果として様々な憶測が飛び交ってしまい、この話題がなかなか鎮火しない状況になっている。辞任の撤回を求める署名活動まで行われていたようだ。阿部監督には同情的な意見が多いのだが、この事件がいつまでも報じられること自体が球団にとってはマイナスだろう。

最初に事実関係をしっかりと確認し、それから然るべき処分を行っていかばここまで長く話題になることはなかったと思われる。それだけ、初動の対応は重要なのである。

思い返せば、私が秘書官として小泉政権を支えた数年間に難局はいくつもあつたが、私も集中していた。

矢ヶ崎法人主事による「環境学・国際文化学」の授業は全2回で、2回目は6月22日(月)に行われた。2回目は学生が8グループに分かれ、提示された5つのテーマから一つを選び、意見をグループ内でまとめ、テーマごと賛成派と反対派に分かれて、意見を戦わせる形式で行われた。

このほか、王室や国旗、スポーツ、食、音楽、映画など、学生にも身近な事象を簡潔に紹介しながら英国におけるその背景を掘り下げていき、多くの学生が、映し出されるスライドをタブレットで撮影したり、要点を急いでメモしたりしながら授業

に集中していた。矢ヶ崎法人主事による「環境学・国際文化学」の授業は全2回で、2回目は6月22日(月)に行われた。2回目は学生が8グループに分かれ、提示された5つのテーマから一つを選び、意見をグループ内でまとめ、テーマごと賛成派と反対派に分かれて、意見を戦わせる形式で行われた。

に集中していた。矢ヶ崎法人主事による「環境学・国際文化学」の授業は全2回で、2回目は6月22日(月)に行われた。2回目は学生が8グループに分かれ、提示された5つのテーマから一つを選び、意見をグループ内でまとめ、テーマごと賛成派と反対派に分かれて、意見を戦わせる形式で行われた。

に集中していた。矢ヶ崎法人主事による「環境学・国際文化学」の授業は全2回で、2回目は6月22日(月)に行われた。2回目は学生が8グループに分かれ、提示された5つのテーマから一つを選び、意見をグループ内でまとめ、テーマごと賛成派と反対派に分かれて、意見を戦わせる形式で行われた。

に集中していた。矢ヶ崎法人主事による「環境学・国際文化学」の授業は全2回で、2回目は6月22日(月)に行われた。2回目は学生が8グループに分かれ、提示された5つのテーマから一つを選び、意見をグループ内でまとめ、テーマごと賛成派と反対派に分かれて、意見を戦わせる形式で行われた。

に集中していた。矢ヶ崎法人主事による「環境学・国際文化学」の授業は全2回で、2回目は6月22日(月)に行われた。2回目は学生が8グループに分かれ、提示された5つのテーマから一つを選び、意見をグループ内でまとめ、テーマごと賛成派と反対派に分かれて、意見を戦わせる形式で行われた。

に集中していた。矢ヶ崎法人主事による「環境学・国際文化学」の授業は全2回で、2回目は6月22日(月)に行われた。2回目は学生が8グループに分かれ、提示された5つのテーマから一つを選び、意見をグループ内でまとめ、テーマごと賛成派と反対派に分かれて、意見を戦わせる形式で行われた。

## 第1学年「環境学・国際文化学」 矢ヶ崎怜央法人主事が講義 英国の学校教育や歴史・文化を幅広く解説



多彩なイギリス関連のスライドを用いて講義する矢ヶ崎法人主事

第1学年の教養教育科目「環境学・国際文化学」が6月15日(月)、キャンパスイン101教室で行われ、矢ヶ崎怜央法人主事が授業を担当した。英国に暮らし、幼少期から英国で教育を受けた経験に基づいて、さまざまな視点で英国の歴史や文化について述べ、学生たちは熱心に聴き入った。

塩尻市保健福祉センターにて6月9日(火)、歯科衛生士のための在宅訪問・口腔ケア勉強会が開かれ、本学から4人が参加した。勉強会には歯科衛生士以外にも歯科医師、看護師、介護福祉士など多職種が参加も多くみられた。



在宅訪問・口腔ケアの必要性を説く内川先生

指導勉強会代表・内川宗敏先生(7期生)より行われた。在宅訪問・口腔ケアの重要性や、口腔ケアの手順やポイント、口腔環境の変化を把握する重要性について学んだ。実習では、口腔ケア導入時の声かけや対応方法について参加者同士による相互実習を行った。次に、クッキー等を用いて咀嚼が困難な口腔状態や口腔乾燥を体験し、食べにくさや口腔内の不快感を体験した。さらに、スポ

ンジブラシ、歯ブラシ、口腔ケアジェルを用いた口腔ケアを体験し、清掃および保湿の具体的な方法や使用感について確認した。グループワークでは、日常の口腔ケアにおける困り事や研修を通じて改めて認識した点について、実際の事例を交えながら意見交換が行われた。参加者からは、現場での対応を見直す機会になったとの意見も聞かれた。

最後に内川先生より「グループワークを通じて、歯科の現場だけでは分かりにくい現場での困り事や課題を知ることができた。口腔ケアは、認知症や全身疾患などにより対応が難しい場合もあるが、現場の状況に寄り添いながら、一つひとつ丁寧に取り組んでいきたい」とのお話があった。在宅および介護現場における口腔ケアの重要性を再確認する有意義な勉強会であった。

この勉強会は、在宅介護の現状を把握し、在宅介護の重要性を再確認する機会となった。

この勉強会は、在宅介護の現状を把握し、在宅介護の重要性を再確認する機会となった。

この勉強会は、在宅介護の現状を把握し、在宅介護の重要性を再確認する機会となった。

この勉強会は、在宅介護の現状を把握し、在宅介護の重要性を再確認する機会となった。

この勉強会は、在宅介護の現状を把握し、在宅介護の重要性を再確認する機会となった。

この勉強会は、在宅介護の現状を把握し、在宅介護の重要性を再確認する機会となった。

た(呆れていたのかもしれない)が、私はたばこを2本ほど頂戴した。普通、北朝鮮との張り詰めた場で一服する客などないらしい。だが私は、その灰皿ひとつに相手の本気度を見た。形だけの会話なら、写真を撮り、一言二言交わして終わりだ。わざわざ愛煙家の客に灰皿を用意するのは、「時間の許す限り、腰を据えて語りましょう」という合図にほかならないと思った。



謝罪会見する阿部監督(当時)

その経験もあつて、私は日朝関係について、もっと前向きに動いてよいと考えている。金正恩総書記は、宋日昊氏に「朝日国交正常化交渉担当大使」という肩書きを与えている。私はこれを、向こうはいつでも首脳会談に応じる用意がある、という意思表示と受け取った。

ただ肝心なのは、政治の首脳会談を急がないことだ。まずは産業、経済、スポーツ、文化といった交流を先に進めることだ。今年の夏も暑くなりそうだ。炎上ではなく、何か明るいニュースで盛り上げられることを祈っている。

江戸時代の口中医(歯科医)は、歯痛や口臭を訴えて受診した患者には、房楊枝を購入させて、それで朝晩しっかりと歯磨きを励行させるようにしました。房楊枝とは適当な太さのヤナギの枝の一端を木槌で叩き、針を並立した器具で梳いて繊維状にしたものです。砂糖がまだ普及していなかった時代の歯科疾患は歯周病が多かったため、それには十分に効果があつたことでしょう。

ヤナギの効用は、歯痛ばかりではありません。頭痛に苦しんでいた後白河法皇が薬師如来の夢告に従って十二世紀に建立された京都の三十三間堂では、現代でも頭痛に悩む人々に「ヤナギのお加持」としてヤナギの枝を浸した浄水を頭にかける呪法が行われ、頭痛封じのお守りにもヤナギの葉が入っているとのこと。三重県の紀和町にある楊枝薬師堂とともに、頭痛山平癒寺と呼ばれるほど霊驗あらたかだと伝えられています。ちなみに、三十三間堂に祀られている千手観音の手のひとつに楊柳が握られていて、頭痛をはじめさまざまな痛みを和らげてくださるとのことです。

西洋でも、古代ギリシャ・ローマ時代から、ヤナギの樹皮に鎮痛・解熱の効果があることは知られていて、ヒポクラテスもその鎮痛効果を記載しています。1830年、レロウクスがヤナギから有効成分を分離し、ヤナギの学名サリックスに因んでサリシンと命名しました。天然の植物から得られた苦味のある配糖体で、主成分はサリチル酸であったようです。

やがて、サリチル酸の化学構造も解明され、1852年にはドイツ人化学者ガイラランドによってこの物質の合成にも成功しました。

サリチル酸は、はじめ防腐剤として導入されましたが、1875年ごろには、数人の医師がリウマチ熱に用いて解熱効果があることを見出し、医薬品としての関心が向けられるようになります。

しかしながら、サリチル酸は強い苦みがあるばかりか、強酸性で腐蝕作用があり、胃障害の恐れなどの副作用があるため、化学者たちはさまざまな誘導体を合成して薬理作用を追求しました。結果的には、サリチル酸をアセチル化したアセチルサリチル酸が実用化されることになりました。

1897年には、ドイツのパイエル社の化学者フェリックス・ホフマンがこの物質を量産する方法を開発します。バイエル社はアスピリンと命名して特許権を取得し、1899年から大々的に売り出しました。効果的な解熱鎮痛剤が日常的に使用できるようになったことは、さまざまな痛みを悩んでいた人々たちにとって、大きな福音となったことでしょう。

さまざまな痛みを和らげてくださるとのことです。西洋でも、古代ギリシャ・ローマ時代から、ヤナギの樹皮に鎮痛・解熱の効果があることは知られていて、ヒポクラテスもその鎮痛効果を記載しています。1830年、レロウクスがヤナギから有効成分を分離し、ヤナギの学名サリックスに因んでサリシンと命名しました。天然の植物から得られた苦味のある配糖体で、主成分はサリチル酸であったようです。

## 痛みと歯科医療⑨

痛みと歯科医療⑨

## 創立者の「視点」



原浩先生  
歯学部  
特任教授

日常生活の中で使われている爪楊枝。現代ではほとんどがクモジで作られているのに、なぜヤナギの枝と表記されるのでしょうか？

実はヤナギの樹皮に鎮痛効果があることが、古代から知られていて、歯痛に対してヤナギの枝で歯肉をマッサージする民間療法が、実際に存在していたのです。

江戸時代の口中医(歯科医)は、歯痛や口臭を訴えて受診した患者には、房楊枝を購入させて、それで朝晩しっかりと歯磨きを励行させるようにしました。房楊枝とは適当な太さのヤナギの枝の一端を木槌で叩き、針を並立した器具で梳いて繊維状にしたものです。砂糖がまだ普及していなかった時代の歯科疾患は歯周病が多かったため、それには十分に効果があつたことでしょう。

ヤナギの効用は、歯痛ばかりではありません。頭痛に苦しんでいた後白河法皇が薬師如来の夢告に従って十二世紀に建立された京都の三十三間堂では、現代でも頭痛に悩む人々に「ヤナギのお加持」としてヤナギの枝を浸した浄水を頭にかける呪法が行われ、頭痛封じのお守りにもヤナギの葉が入っているとのこと。三重県の紀和町にある楊枝薬師堂とともに、頭痛山平癒寺と呼ばれるほど霊驗あらたかだと伝えられています。ちなみに、三十三間堂に祀られている千手観音の手のひとつに楊柳が握られていて、頭痛をはじめさまざまな痛みを和らげてくださるとのことです。

西洋でも、古代ギリシャ・ローマ時代から、ヤナギの樹皮に鎮痛・解熱の効果があることは知られていて、ヒポクラテスもその鎮痛効果を記載しています。1830年、レロウクスがヤナギから有効成分を分離し、ヤナギの学名サリックスに因んでサリシンと命名しました。天然の植物から得られた苦味のある配糖体で、主成分はサリチル酸であったようです。

やがて、サリチル酸の化学構造も解明され、1852年にはドイツ人化学者ガイラランドによってこの物質の合成にも成功しました。

サリチル酸は、はじめ防腐剤として導入されましたが、1875年ごろには、数人の医師がリウマチ熱に用いて解熱効果があることを見出し、医薬品としての関心が向けられるようになります。

しかしながら、サリチル酸は強い苦みがあるばかりか、強酸性で腐蝕作用があり、胃障害の恐れなどの副作用があるため、化学者たちはさまざまな誘導体を合成して薬理作用を追求しました。結果的には、サリチル酸をアセチル化したアセチルサリチル酸が実用化されることになりました。

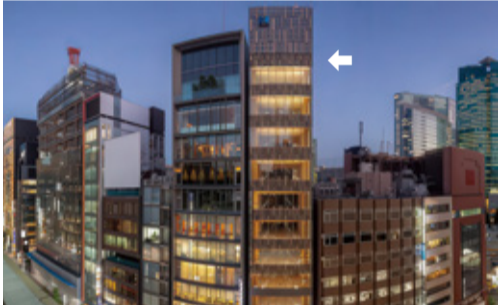
1897年には、ドイツのパイエル社の化学者フェリックス・ホフマンがこの物質を量産する方法を開発します。バイエル社はアスピリンと命名して特許権を取得し、1899年から大々的に売り出しました。効果的な解熱鎮痛剤が日常的に使用できるようになったことは、さまざまな痛みを悩んでいた人々たちにとって、大きな福音となったことでしょう。

病院だより vol.75

銀座8丁目クリニック 「本学の専門技術や心のこもった対応」が大都会に浸透し始めている!

松本歯科大学銀座8丁目クリニックは、2023年7月、最新の設備を備えた診療所として東京・銀座の一等地に開設されました。

このクリニックが開設された大きな目的の一つは、本学の学生や研修歯科医のために「都会型歯科医療」を学ぶ場を提供することにあります。



銀座8丁目に立つ木造フレームが特徴のクリニックが入居するビル

将来的に歯科医療は高齢者歯科医療を中心とした「地方型歯科医療」と先端医療(成人矯正、審美歯科、インプラント等)を中心とした「都会型歯科医療」に分けられるといわれています。

超高齢社会の本邦において、将来的に歯科医療は高齢者歯科医療を中心とした「地方型歯科医療」と先端医療(成人矯正、審美歯科、インプラント等)を中心とした「都会型歯科医療」に分けられるといわれています。

また、銀座にはたくさんのお客様があるため、旅行中の外国の方々も急患として来院されています。中には母国に帰国した後もこの診療室を信頼してくださる方も多数います。

読者の皆様も首都圏に患者様を紹介なさる際には、ぜひ私たちの松本歯科大学銀座8丁目クリニック(電話03-6264-15528)に紹介いただければと思います。

変重要な、そして基本となる臨床教育です。しかし一歩先の将来を見据えると、そればかりではなく、大都会という特殊な現場で、大学とは別角度からみた歯科医療を習得し、幅広いニーズに対応可能な歯科医師の養成も、今後、教育機関には大変重要な使命となるはずで、そのために日本で初めて開設された歯学教育機関による都会型臨床教育の現場施設です。

さて現在、当院は常勤スタッフ4人、非常勤スタッフ4人で運営されています。場所がら自費診療(インプラント、成人矯正、精密根管治療、審美歯科等)が多くなりますが当然、保険診療も行っています。

東京在住の松本市や塩尻市出身の患者様が「HPで名前を見て来院しました」「小さなとき、本校の小児歯科に通っていました」などと松本歯科大学を懐かしく感じて通院してくださっている方も多数います。

現在「松本歯科大学の専門技術や心のこもった対応」が少しずつ銀座の街に、大都会に浸透し始めているところです。

読者の皆様も首都圏に患者様を紹介なさる際には、ぜひ私たちの松本歯科大学銀座8丁目クリニック(電話03-6264-15528)に紹介いただければと思います。

松本歯科大学病院初診室の内田啓一特任教授は6月、山梨県内の2カ所で講演した。それぞれの会場で、歯科領域から全身の健康状態をとらえる視点や、予防における医科歯科連携の重要性などについて詳しく解説を寄せた。

6月20日(土)は、東邦大学医学部・薬学部山梨県支部会総会の会場で、「パノラマエックス線画像から歯科医院で見抜く全身疾患」と題して講演した。身近な歯科でのスクリーニングが全身疾患の早期発見や一次予防の重要な「窓」になり得るといって、医療の枠組みを超えた有意義な知見を共有。歯科の重要性や日々の診療に直結する実践的かつ先進的な内容に、参加した医師や薬剤師らは熱心に耳を傾けていた。

第2回 病院セミナーを開催 濱田良樹先生が講演 「口腔外科界の現状と展望」



講演する濱田先生

2026年度の第2回病院セミナーが6月1日(月)、本館6階601教室で開かれた。講師は、鶴見大学歯学部附属病院院長、口腔外科・顎顔面外科科長であり、同大学歯学部歯学口顎顎顔面外科教授でもある濱田良樹先生が「口腔外科界の現状と展望」をテーマに講演した。

濱田先生はまず、口腔外科・口腔内科(歯科・口腔外科)が果たす重要な役割として、①口腔外科が担当すべき病態を的確に診断し治療すること、②緊急時対応や後方支援を行う歯科界における「二次医療機関」であること、の二つを挙げ、病院経営の観点なども踏まえて、その役割をとらえ直した。

は、歯科病院においては「ベッド稼働率であり、稼働率アップには口腔外科、歯科麻酔科の人員確保が必須要件になる」などと解説。一般病院においても歯科病院と同様に、周術期口腔機能管理によって予後良好となり、医科のベッド稼働率が向上、それに伴い収益性も向上する好循環が生まれることから、ベッド稼働率が重要であるとした。

また、日本の口腔外科界が抱える最大の課題は「人材不足」だとし、「背景には歯学部が口腔外科に新人が入りたがらないことや、病院歯科や口腔外科での卒業研修が未だ終わる研修歯科医がいること、専門医が偏在していることなどがある」と述べて、危機感を示した。

述べて、危機感を示した。セミナー参加者は、日々の業務を振り返りながら熱心に聴講していた。

第1学年・駒井ひかりさんが準優勝 第4学年・菅原広夢君が3位入賞 第53回中部医歯薬剣道大会



剣道部員



活躍した駒井さんと菅原君を称える部員たち

石川県金沢市の金沢大学角間キャンパス体育館で6月7日(日)、第53回中部医歯薬剣道大会が開催され、個人新人女子の部で、我々剣道部の第1学年の駒井ひかりさんが準優勝と躍進し、個人男子の部で第4学年の菅原広夢君が3位入賞を果たした。表彰式では共に会場から大きな拍手をいただいた。

中部地方の医学部、歯学部、薬学部の学生剣士が実力を競う伝統ある大会で今回、本学の剣道部

本学病院で夜間に火災が発生した場合を想定した「病院夜間想定訓練」が6月10日(水)、病院棟で行われた。入院患者の

さらに守衛は多様な機能を集約する防災盤の扱い方、看護師は患者を運ぶキャリーマットの扱い方も訓練し、いざという時に遅滞なく使えるよう手順と操作を再確認した。

からは10人が団体戦や個人戦に出場した。部員一丸となって戦う団体では、男子は浜松医科大学や愛知学院大学と、女子は金沢大学や富山大学と対戦、それぞれが全力を尽くし、白熱した試合を展開したものの入賞には至らなかった。

今回の試合経験を今後になか

避難誘導や初期消火などを訓練し、万が一の場合にも、犠牲者を出さず、被害を最小限にする行動を確認した。

病院夜間想定訓練を実施

病院職員など総勢21人が参加 避難誘導等の手順を再確認

本学病院で夜間に火災が発生した場合を想定した「病院夜間想定訓練」が6月10日(水)、病院棟で行われた。入院患者の

避難場所から守衛室への安全負傷者確認と避難完了を報告する訓練などに、一つ一つ細かく手順を確認しながら取り組んだ。

キャリーマットを使い避難訓練を行う病院職員

内田啓一特任教授が山梨県内の2カ所で講演 歯科領域から全身の健康状態をとらえて解説

松本歯科大学病院初診室の内田啓一特任教授は6月、山梨県内の2カ所で講演した。それぞれの会場で、歯科領域から全身の健康状態をとらえる視点や、予防における医科歯科連携の重要性などについて詳しく解説を寄せた。

6月18日(木)は、中巨摩、北巨摩両医師会主催の学術講演会で、教育講演「医科歯科ダブルチェックで挑む脳卒中予防ー頸動脈プラークを早期発見する新たなルーティンー」を行った。



学術講演会後、中巨摩医師会の齊藤和隆会長(中央)と曾根順子理事(左)と共に講演を振り返る内田特任教授

山梨東邦会顧問の斎藤義昭先生など、多方面の第一線で活躍する同窓の重鎮らが臨席し、会場は和やかな熱気に包まれた。

# Alumni News

松本歯科大学校友会

## 第47回 松本歯科大学校友会総会 新年度事業計画等5議案を審議 さらに在学生の支援に取り組むことを確認



全国各地支部から77人の役員が出席した総会

り組んでいくことを確認した。総会に先立ち物故会員14名に対して黙祷をささげ、校歌斉唱をした。

松本歯科大学校友会第47回総会が6月21日(日)、キャンパスイン101教室で行われた。本年度の事業計画や予算など5議案を審議し、校友会として今後も在学生の支援に積極的に取

り組んでいくことを確認した。総会には矢ヶ崎 雅会長以下副会長、専務理事、監事、顧問、理事の役員77人が全国各地より出席。議事に先立ち矢ヶ崎会長は、会員に日頃の感謝の意を述べられた。

議長には岩本正人先生(10期生)、副議長には安東基善先生(10期生)が選出され、議事録署名人には伊沢正彦先生(5期生)と野本喜永先生(10期生)が選出され議事が進行された。議事では2025年度の事業報告と収支決算について報告され、続いて2026年度事業計画と2026年度予算について審議された。

総会の最後には報告事項として、宇田川信之学長より、新入生の状況、在校生の様子や第119回歯科医師国家試験の合格状況についても報告され、今後の展望を述べられ閉会となった。

総会終了後には図書会館1階の中国料理レストラン「Szechuan」に場所を移し、和やかな歓談が続いた。(14期生 小児歯科学講座 教授 大須賀直人)

## 長野県支部 第43回支部総会・懇親会を開催 宇田川信之学長が学術講演 「骨は生きていくー歯周病と骨粗鬆症との関連ー」

諏訪市の上諏訪温泉(浜の湯)において6月6日(土)、第43回松本歯科大学校友会長野県支部総会が開催された。

畔に50人の会員が集結した。総会では、山田和昭支部長のあいさつに続き、令和7年度の会務・決算報告、令和8年度の事業計画および予算案が審議され、いずれも満場一致で承認された。

会務報告では、本年度より導入された会費の口座振替制度の状況や、歯科医師会における将来のリーダー育成を見据えた構想などが示され、支部活動の活性化に向けた議論が行われた。

続く学術講演会では、母校の学長である宇田川信之先生を講師に迎え、「骨は生きていくー歯周病と骨粗鬆症との関連ー」と題してご講演いただいた。

骨代謝と歯科疾患の密接な関係を生化学的視点から解説する内容は日常臨床に直結する非常に興味深いものであり、参加者は熱心に最新の知見を学び取っ



矢ヶ崎理事長(前列右から5人目)を囲み出席者全員で記念撮影

た。懇親会では、矢ヶ崎 雅会長以下副会長、専務理事、監事、顧問、理事の役員77人が全国各地より出席。議事に先立ち矢ヶ崎会長は、会員に日頃の感謝の意を述べられた。

懇親会では、矢ヶ崎 雅会長、宇田川学長、歯科医師会からは大滝祐吉副会長ら多くの来賓を迎え、岡谷下諏訪歯科医師会の溝口英治会長の乾杯のご発声で盛大に開催された。

会場では南信地区による趣向を凝らした余興や校歌斉唱も行われ、終始和やかな交流が続いた。7日(日)には三井の森ゴルフクラブ倶楽部にて親善ゴルフコンペが開催された。心配された天候も持ちこたえ、緑豊かなコースで爽やかな汗を流して親睦を深め、2日間にわたる全日程を無事に終了した。

同窓の絆を深め、明日からの診療への活力を得る素晴らしい機会となった。(長野県支部 第43期生 松本桂介)

## 体験型ブースを初出展 高校生に歯科治療の面白さ伝える マイナビ進学ライブ浜松会場



診療科スタッフの指導のもと体験実習に取り組む高校生たち

の複合施設「アクトシティ浜松」で開催され、本学は体験型ブースを初出展した。「今、歯科医療がアツい!本物の器具・材料で虫歯治療に挑戦」をテーマに、3Dプリント模型に再現した歯を、実際の歯科治療で使用するマイクロモーターで切削し、コンポジットレジンで修復する体験実習を行った。

一日体験入学において、理工学講座の黒岩昭弘教授が長年実施してきた人気の「模擬実習」を、今回のイベント向けに改良したもので、当日は病院診療科の枠を超えて、本学の若手歯科医師がインストラクターとして

参加し、高校生一人一人に器具の扱い方や歯科治療の面白さを伝えた。ブースは大変好評で、合計100人近い高校生が実習を体験した。歯科医師や歯科衛生士を目指して本学の説明を聞きに来てくれた高校生だけでなく、これまで歯科医療を進路として考えていなかった生徒からも関心を集め、「歯医者になりたい!」「体験入学に行きたい!」といった声を多数いただいた。

7月も引き続き、山梨会場を皮切りに、高崎、名古屋、大阪、(衛生学講座 助教授 企画調整室 樽井 尚)

## 大学と地域の 無事安泰を祈願 諏訪社・稲荷社例祭



参列者をお慰む稲荷宮司

キャンパス内の南西の角にある諏訪社・稲荷社の例祭が6月4日(木)、厳かに行われた。

矢ヶ崎 雅理事長をはじめとする本学役員、関係職員、地元の人々、郷原区関係者などが参列し、地域と大学の安泰を祈願した。

社殿前に整列した関係者の前で、岡宮神社(松本市)の福澤義則宮司が祝詞を奏上し、参列者の代表が順番に玉串を奉納し、お参りした。

神事を終え、矢ヶ崎理事長は「郷原の皆さんと大学の安泰を願う、この例祭を今後も継続していきたい」と述べ、大学

運営に対する地域住民の日ごろの協力にあたたかめに感謝した。

福澤宮司は「当社は松本歯科大学の守り神であり、地域の鎮守様。お祭りができたことをうれしく思う」とあいさつした。本学のある「桔梗ヶ原」は、かつては玄蕃稲荷大明神を祭る社の境内だったと伝わる。そこで大学創立後の1978年、各方面から歴史を継承できる石碑などの建立を求めた声もあつたことから当時の橋口紳徳理事(故人)らの協力で、2つの社が

## 「知のフロンティア」 「知のフロンティア」 「知のフロンティア」

図書館は8月まで、カウンター前の特設コーナーで、「知っているようで知らない」となる「国」をテーマに特集図書を紹介している。中国、韓国、台湾、本学のある長野県、これら四つの国や地域に関連する文学作品を中心に約30冊を選書、展示して、貸し出している。特集図書の紹介は、利用者に読書の魅力を発信する取り組みで、本学で中国、韓国、台湾にゆかりのある留学生も多数学んでいることを踏まえて今回のテーマを設定した。



図書館カウンター前の特設コーナー

- 28日(火) 31日(金) 入学試験(歯学部)
- 29日(水) 入学試験(歯学部)
- 30日(木) 入学試験(歯学部)
- 26日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 25日(土) 入学試験(歯学部)
- 24日(金) 入学試験(歯学部)
- 23日(木) 入学試験(歯学部)
- 22日(水) 入学試験(歯学部)
- 21日(火) 入学試験(歯学部)
- 20日(月) 入学試験(歯学部)
- 19日(日) 入学試験(歯学部)
- 18日(土) 入学試験(歯学部)
- 17日(金) 入学試験(歯学部)
- 16日(木) 入学試験(歯学部)
- 15日(水) 入学試験(歯学部)
- 14日(火) 入学試験(歯学部)
- 13日(月) 入学試験(歯学部)
- 12日(日) 入学試験(歯学部)
- 11日(土) 入学試験(歯学部)
- 10日(金) 入学試験(歯学部)
- 9日(木) 入学試験(歯学部)
- 8日(水) 入学試験(歯学部)
- 7日(火) 入学試験(歯学部)
- 6日(月) 入学試験(歯学部)
- 5日(日) 入学試験(歯学部)
- 4日(土) 入学試験(歯学部)
- 3日(金) 入学試験(歯学部)
- 2日(木) 入学試験(歯学部)
- 1日(水) 入学試験(歯学部)

### 受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

#### 一日体験入学

① 7月5日(日) ② 7月26日(日)  
③ 8月1日(土) ④ 8月9日(日)

※7・8月開催分のみ掲載

開催時間 9:30~15:00 (受付9:00~)

- キャンパスツアー ●ランチ体験
- 模擬実習 ●入試説明 ●進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210  
松本歯科大学 入試広報係  
www.mdu.ac.jp

### 7月行事予定

- 5日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 13日(月) 24日(金) 定期試験(第4学年)
- 14日(火) 24日(金) 前期定期試験II(歯学部第2学年)
- 21日(火) 前期定期試験(歯学部第3学年)
- 23日(木) 国家試験過去問試験I(第5学年)
- 24日(金) 入学試験(歯学部)
- 25日(土) 入学試験(歯学部)
- 26日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 28日(火) 31日(金) 入学試験(歯学部)
- 29日(水) 入学試験(歯学部)
- 30日(木) 入学試験(歯学部)

